

定数4減「32」を可決

市原市議会、賛成多数で

市原市の定例議会は13日、議員定数を現行の36から4減の32とする条例改正の議員発議案を賛成多数で可決した。新定数は、条例改正を経て来年の次回市議選から適用される。

定数をめぐる議論は、市議の死去に伴う欠員発生や定数削減を求める陳情をきっかけに本格化。市民アンケートの結果などを受け、議会改革推進協議会(会長・小出譲治議長)は現状維持か定数削減かの二択で会派間の意見集約を図り、32とする結論を出していた。

定数削減には反対意見も根強く、日本共産党からは「多様化する市民生活への目配りができなくなり、少数意見の切り捨てにつながる」との批判も。新定数適用後は、議会機能を低

下させることなく議会運営ができるかが注目されよう。

補正予算など22議案
定例議会は13日開会。2

月の大雪に伴う被災農業者向け経営体育成支援事業補助金(3億1976万円)や認定こども園施設整備費補助金(8007万3千円)など4億1757万3千円を追加する一般会計補正予算案など22議案が提案された。

会期は30日まで。一般質問は19、20、23、27、30日の5日間に18人が行う。